

- =私たちの活動 4つの柱=
- \*制度化と指導員の身分保障
- \*専門性と仕事の確立
- \*父母と共に学童保育運動の発展
- \*全国の指導員との団結と連帯

## 建交劳全国学童保育部会

## ニュース学童保育

2024. 4. 1.  
N O. 1 1 2  
全日本建設交運一般労働組合  
全国学童保育部会 発行  
編集：事務局

格者（みなしあり）をつ  
人以上雇用している、が  
要件となります。

また、「週の総開所時  
間の8割以上働いている  
人（月給、時給は関係な  
い）」も常勤です。

愛知支部から「初任給を3万円引き上げて、予定人数の募集に達したところがある。賃上げ要求も高まっている」と発言。

## 要求出して 賃上げ実現を

## 私たちも受け止めよう 子どもたちの声

政府や国会議員に届けている「子どもたちの声」。制度、施策が不十分なことがよく伝わってきます。私たち組合員も、こうした声をしっかりと受け止め、行政への要求、実態の改善につなげていかなければ、と感じます。

「トイレを(ふ)やしてほしい」

「部屋がせまいから、自分がやりたいことができない」

「つかれた時ねつがでた時、ふかふかのベッドで毎日ちよくねたい」

「がくどうをとにかくふやしてほしい。おにいちゃんとおねえちゃんがはいれなかつた」

がくどうにかよっている  
ぼくたち・わたしたちの  
こえをきいてください！！

全国学童保育部会は、  
3月25日、緊急意思統  
一会議を開催しました。  
「常勤職員配置の改善」  
による国庫補助の増額を  
指導員の待遇改善、増員  
につなげるための取り組  
みを確認しました。



6支部・分会、18人が参加し、自治体の動向や職場での取り組みを交流しました。

札幌支部は文書  
による発言で「市  
から父母会にお知  
らせが来ており、  
国に準じて予算化  
すると知らされて  
いる。各学童でも  
思い切った貢上げ  
を要望している」

**自治体の動向**

既定管理者制度で  
されてくるといひは、  
合単独で動くことでは  
や今後の契約に影響さ  
ることを懸念すり、  
う発言もありました。

(事務局長  
田村一志)

福岡支部は「久留米分  
会では要改善を提出し、  
補助金増額を背景にベア  
要求している」。

を付ける付けないの判断は自治体です。  
自治体に組合で聞ける  
といふは電話でもいいか